

令和6年度スーパーサイエンスハイスクール事業 理数セミナーのお知らせ

不思議すぎる生存戦略「休眠」 ～イカナゴの夏眠をモデルとして～

日時 | 令和6年7月6日(土)

午後2時から午後4時まで

会場 | 本校1階多目的ホール (予定)

対象 | 高校生・中学生

講師 | 北里大学 海洋生命科学部 水族生理学研究室
阿見彌 典子 先生



講演概要

休眠とは、生存が厳しい環境となる時期に、活動を一時的に停止して乗り切る生体を防御する機構です。クマやリスの冬眠は、冬季の低い気温や餌の少ない時期を乗り切るための活動抑制機構であると考えられています。一方、高温期に引き起こされる休眠もあります。それが「夏眠」です。夏眠では体温の低下による消費エネルギーの節約を期待できないため、冬眠とは異なる調節機構により制御されていると予想されます。

そこで、沿岸に生息する海産魚のイカナゴに着目しました。イカナゴは夏から冬にかけての約半年間、餌も食わず遊泳もせず砂の中にずっと潜り続けて夏眠します。さらに餌も食べていないこの夏眠中に成熟を開始し、夏眠が終了すると繁殖します。日本各地で漁師さんに獲っていただいたイカナゴを大学で飼育して、行動を観察することで明らかになってきたイカナゴの驚くべき夏眠生態をご紹介します。イカナゴの話を通して、想像を絶する研究の面白さを皆さんにお伝えしたいと思います。

講師紹介

略歴 2009年3月 北里大学大学院水産学研究科博士課程修了
2009年4月 日本学術振興会特別研究員(PD)
2010年4月 北里大学海洋生命科学部 講師

お問い合わせ：探究・SSH部 TEL 03-3382-0601

